

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0395
施設名	光明第六保育園
施設所在地	あきる野市留原50
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】高尾山登山

- ・年長児が高尾山に登る体験を通して、自然に親しみを持つ。
- ・達成感や満足感を味わい、友達と協力して活動する楽しさを知る。
- ・様々な自然に触れ、風、音、匂いなどを感じる。

<テーマの設定理由>

豊かな自然環境に恵まれている自園だからこそ多様な自然体験を保育活動に活かせるよう、「自然」をテーマとした。散歩や近隣の公園、川など様々な場所に散策に出かけるが、「大きなお山に登りたい」と年長児から提案があった。近所の自然だけではなく、日頃登ることのない山の自然を感じることで新たな発見や気づきが見つかることも考え、高尾山登山を企画した。

2. 活動スケジュール

- ①事前の話し合い（登山時の約束事や持ち物の確認）
- ②高尾山登山（道中で休憩・水分補給・自然散策）
- ③高尾山に住んでいる生き物（ムササビなど）、居場所（木の上や巣など）を知る。
- ④たこ杉や天狗など高尾山で知り得る情報や由来を知る。
- ③山頂での休憩・景色の観察・ビジターセンターの方から高尾山の動植物の話を聞く。
- ④下山・振り返り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①貸し切りバスの手配
- ②事前指導（安全面・約束の確認）
- ③持ち物の準備
- ④登山ルートの確認
- ⑤休憩場所の確保・体調の確認

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年長児が高尾山登山を行った。出発前は「登れるかな？」と不安そうな声も聞こえていたが、登り始めると「がんばろう！」と声をかけ合いながら意欲的に進姿が見られた。道中では植物や昆虫を見つけて興味を示し「これなんていうの？」「きれいだね！」と自然に触れあいながら登山を楽しんでいた。山頂に登頂すると「やったー！」「疲れたけど楽しかった！」など達成感を味わっているようだった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

疲れが見られる場面では、友達同士で「あと少しだよ」「一緒にいこうよ」など声をかけ合う姿が見られた。また、保育者や友達からの励ましにより最後まで諦めずに登ることが出来た。自然物に興味を示し「虫がいる！」「葉っぱが大きい！」など気付きを共有する姿も見られた。「風が吹くと気持ちがいい」「なんか森の匂いがする」などと自然を五感で感じる事ができた。ムササビの巣を発見すると、「あんなところにいるのか」「おーい！」とムササビに興味を持つ声が聞かれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは普段の生活以上の頑張りや協力する姿を見せ、登山という体験を通して大きく成長していることを改めて感じる事が出来た。実際に自然の中で体を動かすことで、山の中の風や光、匂いなど五感を通じた気付きや学びが多く見られた。今回の経験が自信や達成感に繋がり、今後の活動にも良い影響を与えてくれるのではないかと感じた。